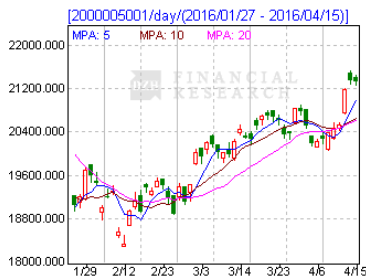


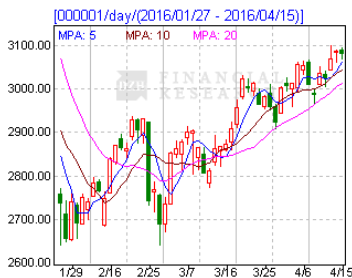


## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	17,897.46	-28.97	-0.16	1.82	2.71	17,425.03
NASDAQ	4,938.22	-7.67	-0.16	1.80	-1.38	5,007.41
日経225	16,848.03	-63.02	-0.37	6.49	-11.48	19,033.71
上海総合	3,078.12	-4.25	-0.14	3.12	-13.03	3,539.18
滬深300(CSI300)	3,272.21	-3.63	-0.11	2.71	-12.30	3,731.01
ハンセン	21,316.47	-21.34	-0.10	4.64	-2.73	21,914.40
H株	9,214.98	-22.92	-0.25	5.86	-4.62	9,661.03

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は4.6%高と大幅反発、上海総合指数は3.1%高

ハンセン指数は1週間で4.6%高と大幅に反発。中国の経済指標が軒並み市場予想を上回る強い内容だったことで、中国景気の減速に対する過度の警戒感が後退した。ハンセン指数は13日に21000ポイント台を回復。14日には7営業日続伸で年初来高値を更新した。15日には中国の1-3月期のGDP成長率が予想通りの内容となり、利益確定売りで8日ぶりに反落した。上海総合指数は1週間で3.1%高と反発。強い経済指標の発表を受けて景気の先行き不安が後退。上海総合指数は3000ポイントを上回る水準で推移した。

### 今週の展望:香港市場は軟調な展開か、利益確定売り強まる公算

香港市場は軟調な展開が見込まれる。中国の経済指標が軒並み予想を上回る強い内容だったことで中国の景気減速懸念が後退していることはプラス材料だが、ハンセン指数は先週の大幅反発で年初来高値圏にあり利益確定売りが出やすい。また、ドーハで行われた産油国会合での増産凍結見送りを受けて原油相場の先安観が強まっており、リスク回避の動きも広がりそうだ。本土市場も軟調な展開か。上海総合指数が節目の水準を超えたことで先行きに対して強気の見方が増えてはいるが、利益確定売りが強まりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国神華能源(01088)	13.18	11.88
2 中国蒙牛乳業(02319)	13.56	10.97
3 レノバグループ(00992)	6.46	9.31
4 中国人寿保険(02628)	19.74	9.30
5 恒隆地産(00101)	15.76	9.29
6 ヘトロファイナ(00857)	5.33	9.22
7 CNOOC(00883)	9.73	8.72
8 中国平安保険(02318)	37.85	7.99
9 恒安国際集団(01044)	73.30	7.40
10 HSBC(00005)	49.30	7.17

### ▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 長江インフラ(01038)	73.65	-1.73
2 昆侖能源(00135)	6.71	-0.59
3 香港鉄路(00066)	38.55	-0.26
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

### ▼今週の期待材料

- ◆中国の3月の貿易統計で輸出が米ドルベースで前年同月比11.5%増と急回復、輸入も減少率が縮小
- ◆中国の1-3月期GDP成長率は6.7%、国家統計局の報道官は「良好なスタートを切った」と評価
- ◆中国の3月のCPIは2.3%の上昇、市場予想を下回る伸びにとどまったことで追加金融緩和期待が継続

### ▼今週の懸念材料

- ◆ハンセン指数は先週の大幅反発で年初来高値圏、高値警戒感で利益確定売りが強まる公算
- ◆ドーハで開かれた主要産油国会合で増産凍結を見送り、原油相場の先行きに再び不透明感
- ◆中国本土企業の12月決算発表や1-3月期の業績見通し発表が佳境に、結果によっては失望売りも

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国海外宏洋(00081): 1-3月の営業利益は4%増加、不動産販売額は11%増と堅調
- ☆ 中国南方航空(01055): 3月の旅客数は2%増加、貨物輸送量は8%増と堅調
- ☆ BYD(01211): 深セン市で電気バス3024台の受注獲得、受注額は18億元超の見込み
- ☆ 大唐新能源(01798): 1-3月の発電量は8%増加、うち風力発電は9%増と堅調
- ☆ 中国中煤能源(01898): 3月の石炭販売量は26%増加、1-3月の累計も26%増加
- ☆ 中国人寿保険(02628): 1-3月の保険料収入は31%増加、3月単月も2桁増を確保
- ★ チャイナ・ユニコム(00762): 21日に1-3月期決算を発表、市場予想は33%減益
- ★ CNOOC(00883): ドーハの産油国会合で原油増産凍結見送り、原油安が業績に逆風
- ★ 華能国際電力(00902): 1-3月の国内発電量は7%減、電力販売量も7%減と低調
- ★ 長城汽車(02333): 22日に1-3月期決算を発表、市場予想は19%減益

## ▼今週の主なイベント

- 4月19日(火)
- 【香港】失業率(1-3月)
- 4月20日(水)
- 【米国】中古住宅販売件数(3月)
- 4月21日(木)
- 【欧州】欧州中央銀行(ECB)理事会

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>  
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。